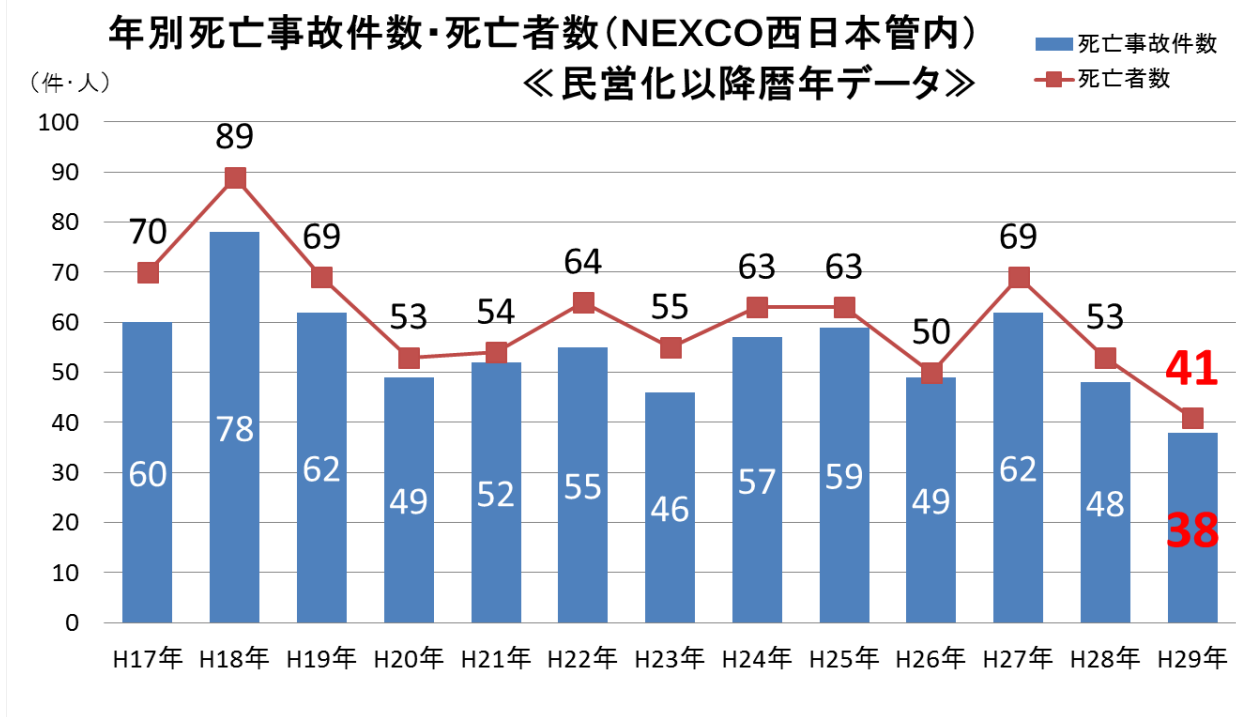


〔資料中の値は、特に記載のあるものを除き、全てNEXCO西日本調べ（平成29年1月から12月までの速報値）〕

1. 交通死亡事故発生状況について

① 死亡事故件数・死亡者数(H17～29年)

平成29年の交通死亡事故発生状況は、道路公団民営化(平成17年10月)以降、交通死亡事故件数・死亡者数ともに最も低い水準となっております。

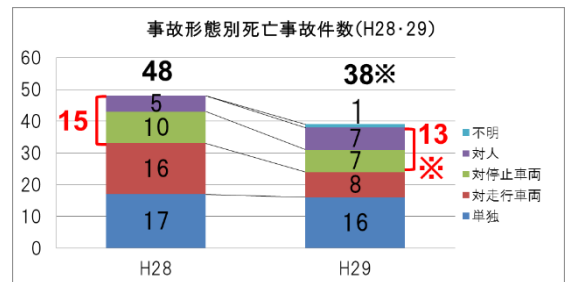


② 死亡事故の特徴と傾向

死亡事故の発生状況を前年と比較すると、事故形態別では、全体件数は減少したものの、「まさか! (※)の事故」が依然として発生(H28:15件→H29:13件)しており、看過できない状況にあります。

また、逆走に起因する死亡事故も1件発生しております。

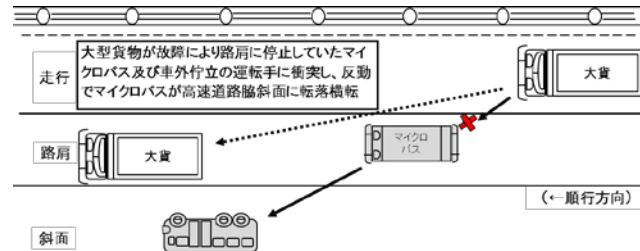
※「まさか!の事故」=直前の事故や故障等により高速道路上に立っている人や、停止している車両等に衝突する事故(対人事故+対停止車両事故)



※H29については対人・対停止車両の2つの事故形態に該当する事故が1件あるため、合計は一致しません。

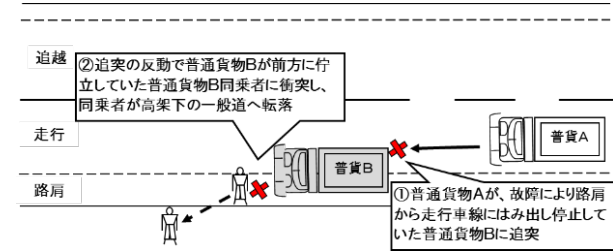
③ 平成29年に発生した死亡事故の事例

【対人・対停止車両:8月25日(徳島道)】



大型貨物が走行車線を進行中、故障により路肩停止していたマイクロバス及び車外に出ている運転手に追突したものの、追突の反動でマイクロバスは路外逸脱となり、高速道路脇斜面上に横転停止。マイクロバス運転手の男性及び乗客の女性の計2名が死亡。

【対停止車両:11月21日(長崎道)】



普通貨物Aが走行車線を進行中、故障により路肩から走行車線にはみ出し停止していた普通貨物Bに追突。反動で普通貨物Bが前方路肩に佇立していた普通貨物Bの同乗者に衝突し、同乗者が高架下一般道に転落したものの、普通貨物B同乗者の男性1名が死亡。

2. 事故防止にむけた NEXCO 西日本の取り組み等

NEXCO 西日本では、高速道路をご利用のお客さまに安心・快適な道路環境を提供するため、各種交通安全対策に取り組んでおります。

《①逆走対策》

平成 29 年においても、逆走に起因する死亡事故が 1 件発生しております。(H28:3 件(▲2 件))

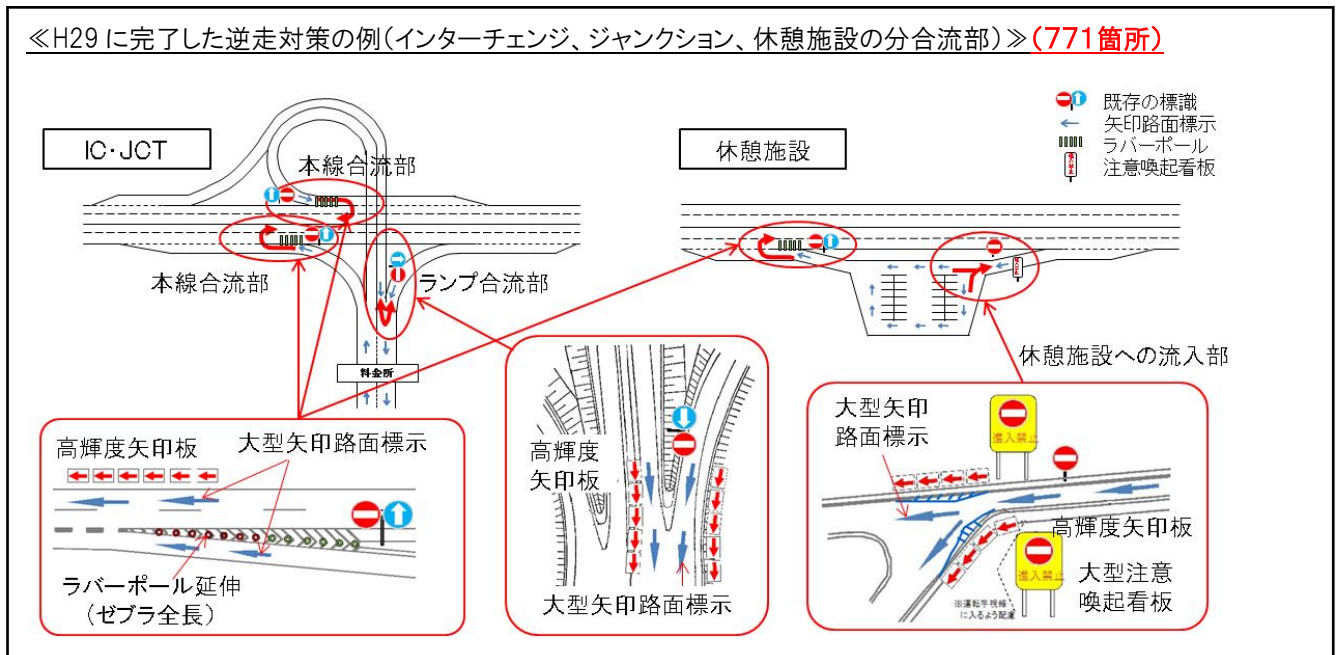
NEXCO 西日本ではこうした状況を受け、逆走事故ゼロを早期に実現すべく各種対策に取り組んでおります。

■ ハード対策

現在、高速道路関係 6 会社では、国土交通省をはじめ関係機関と連携して、全ての IC・JCT 部等での物理的・視覚的対策を進めており、NEXCO 西日本においては平成 29 年 10 月をもって完了しました。

今後は引き続き IC の一般道接続部及び料金所周圍の逆走対策を進めてまいります。

更に、対策のより一層の推進を図るため、民間企業等から提案のあった逆走対策技術等の実道での検証を進めてまいります。



■ ソフト対策(逆走防止に向けた啓発・広報の強化)

NEXCO 西日本では、従前より、ホームページや各種チラシ・リーフレット、キャンペーン等により逆走防止に向けた啓発・広報を行うとともに、逆走防止用啓発教材を作成し、西日本エリアの各警察関係機関へ配布及び本教材のホームページへの掲載を行っております。

また、NEXCO 東日本・中日本と連携した逆走防止統一啓発として、平成 29 年に引き続き、平成 30 年においてもテレビ・新聞等のマスメディアを通じた広報を実施いたします。

《教材ダウンロード画面(当社ホームページ)》

《逆走防止統一啓発ロゴマーク及びキャッチフレーズ》



逆走は命にかかわる危険行為です。
—— 逆走しない、させない、事故にしない ——

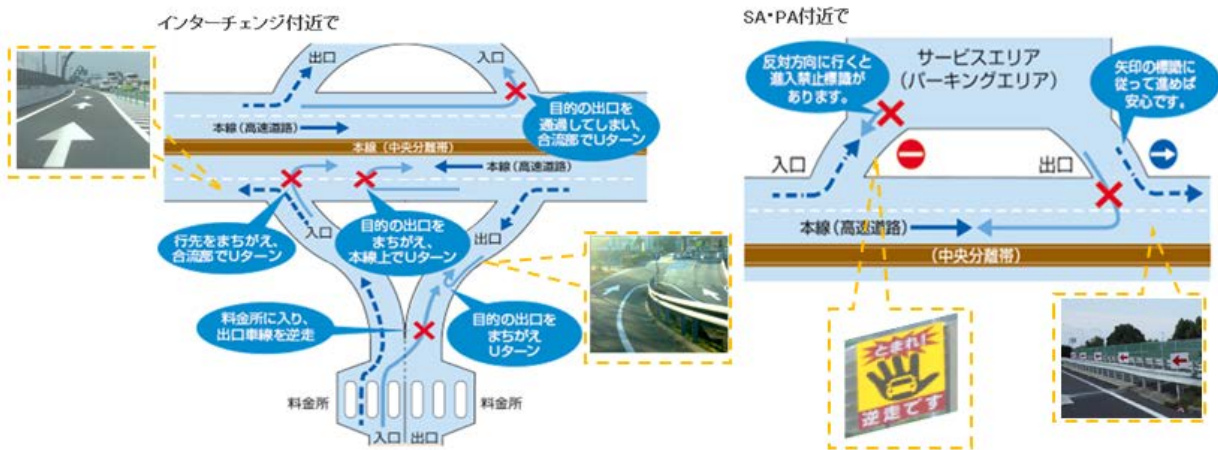
《参考》お客さまへのお願い

高速道路における逆走行為は、ひとたび事故が発生すると重大事故に繋がるばかりか、何の落ち度もなく運転されている他のお客さまにも甚大な被害を与える可能性がある非常に危険な行為です。絶対におやめください。

【高速道路は一方通行です】

- ☑ 逆走しないために、案内標識や路面標示などで進行方向を十分確認し走行してください。
- ☑ もし目的のICを行き過ぎてしまっても、本線上や料金所付近では絶対にUターンやバックをせず、そのまま走行し次のICで降りて料金所係員にお申し出ください。

逆走はこんな所で起こりやすい！



【逆走車を発見したら】

- ☑ 逆走車を見かけたら、料金所係員への通報のほか、最寄りのSA・PAの非常電話や、同乗者の方から110番・道路緊急ダイヤル(#9910)などで通報をお願いします。通報をいただくと、逆走車の発生を道路情報板やハイウェイラジオで直ちにお知らせいたします。
- ☑ 逆走車の情報を見たり聞いたりしたら、速度を落とし、十分な車間距離をとって前方車両の動向を注視しながら走行してください。
- ☑ 逆走車を前方に発見したら、路肩などの安全な場所に停止して衝突を避けてください。

《②交通安全啓発活動》

NEXCO 西日本グループでは、SA・PA、料金所及び地域の交通安全イベント等において、年間 200 回を超える「交通安全キャンペーン」を開催しているほか、運輸系企業、自動車学校及び地域コミュニティ等に出向き、年 90 回程度「出張講習会」を実施するなど、積極的に各種交通安全啓発活動に取り組んでおります。

また、重大事故等発生状況をふまえ、NEXCO 西日本管内統一で「緊急時の対処方法」や「落下物防止」などのテーマを定め、集中的な啓発活動を実施しております。

さらに、「愛する人・愛してくれる人を想う気持ち」を原動力に、想いやりの心の輪を広げることで、社会全体で交通事故ゼロを目指す「DRIVE&LOVE プロジェクト」を推進しており、新たなキャッチフレーズ「笑顔の運転～笑顔をつくる運転はやさしさが生み出す～」を合言葉に、認知拡大に向けた PR 活動のほか、賛同企業・団体の皆さまとの交流会を開催するなど、活動に取り組んでおります。



《交通安全キャンペーンにおける
DRIVE&LOVE の PR 活動》

《参考》みんなでいっしょに交通事故ゼロを目指すプロジェクト『DRIVE&LOVE』
ただいまサポーター募集中です ⇒ URL: <http://drive-love.jp/>

DRIVE & LOVE
ドライブにはラブがいる。

笑顔の 運転

drive
with a
smile.

笑顔をつくる運転は、やさしさが生み出す。

ドラブー

“ドラブー”は交通事故ゼロの社会を目指して、
みんなに安全運転を呼びかける公式キャラクターです。

みんなでいっしょに交通事故ゼロを目指そう!

運転の豆知識やドラブーの日常をお届け!
公式 Facebook 更新中
[facebook.com/driveandlove](https://www.facebook.com/driveandlove)

<http://drive-love.jp>

DRIVE & LOVE 検索

モバイルからの
アクセスは
こちら →

3. 安全運転のお願い

《① 漫然運転やわき見運転をせず、十分な車間距離をとりましょう！》

高速道路における死亡事故の大半が、漫然運転やわき見運転によるものと考えられています。「考えごとやぼんやりしていた」「外の景色や車内の落下物に気をとられていた」などにより、前方への注意が欠けると大変危険であり、時速100kmの速度では、車は1秒間に約28mも進むため、一瞬の気の緩みで重大な事故につながる恐れがあります。

ぜひ、前掲したDRIVE&LOVEプロジェクトの「笑顔の運転」を実践していただき、前方や周辺の状態に注意しながら、十分な車間距離をとって運転に集中して下さい。特に深夜・早朝の時間帯や雨天時には、速度を控えるなど安全運転をお願いします。

《② 落下物を発生させないために》

積荷等の落下により他のお客様に対し損害を与えた場合、落とし主が責任を問われます。積荷にはシートをかけ、ロープで固定するなどして確実に落下防止措置を施してください。

出発前、高速道路走行前には必ず積荷の点検をお願いします。

また、休憩等により途中のSA・PAに立ち寄られた際にも、忘れずに積荷の再点検を行ってください。

《③ 高速道路上で緊急停止した場合の対処法》

高速道路は、時速100km近い車が行き交っている空間です。一般道と同じ感覚で行動すると、思わぬ事故に巻き込まれる可能性があります。交通事故・車両故障などの緊急事態が発生した場合の対処法に関し、今一度、以下の注意事項についてご確認ください。

・後続車に合図

後続車の運転手があなたの車に気づいているとは限りません。

ハザードランプ・発炎筒・停止表示器材等で後続車に対する注意喚起を行ってください。また、万が一の場合に備えて、発炎筒・停止表示器材は必ず車載しておきましょう。

・歩き回らない

事故・故障車付近の本線車道や路側帯を歩き回ると大変危険です。

高速道路は一般道とは違います！同じ感覚での行動は絶対におやめください。

・安全な場所に避難

車内や車の前後での待機は大変危険です。運転手も同乗者も全員、進行方向に向かって後方のガードレールの外側など、避難できる場所かどうか十分に確認のうえ、すみやかに安全な場所へ避難してください。(右上図を参照)

・通報

110番、道路緊急ダイヤル(#9910)、非常電話などで事故や故障状況を通報してください。



万が一、事故・故障に遭われた際は、後続車に合図のうえ、車内や車のまわりに残らず、速やかに安全な場所へ避難していただき、110番・道路緊急ダイヤル(#9910)などで**通報**をお願いします。